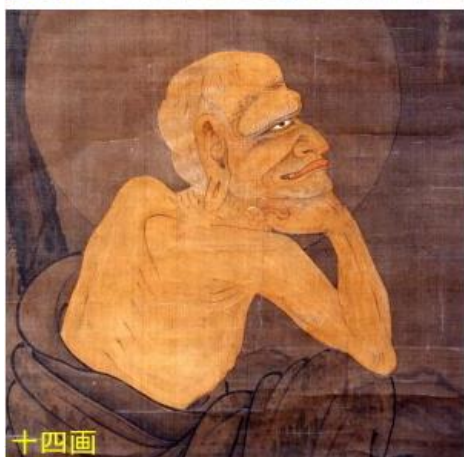
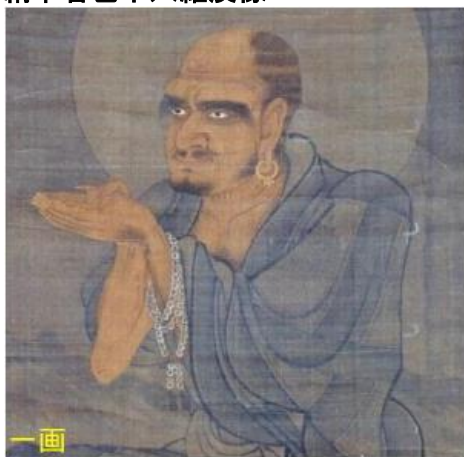



絹本着色十六羅漢像



指定区分	県指定重要文化財(絵画)
読みかた	けんぽんちゃくしよくじゅうろくらかんぞう
所在地	備前市伊部 長法寺
指定年月日	平成13年3月23日
解説	各幅に一尊者ずつ描き、16幅からなる。各縦131.4cm、横53.8cm。中国宋時代の羅漢図を模写したもので、表現もバラエティーに富み、奇異な表現において独自の存在価値をもつ作品である。制作年代は14世紀を下らないものと思われる。寺伝によると、京都泉涌寺の僧が中国から持ち帰ったもので、後小松天皇(1377～1433)の病氣平癒を祈願した功により、長法寺に寄付されたという。
アクセス方法	JR岡山駅から徒歩約25分／路面電車「城下」下車徒歩約10分／岡電バス「後楽園前」下車すぐ
公開状況	岡山県立博物館にて展示 [問い合わせ先]086-272-1149
設備	駐車場は岡山後楽園駐車場を利用。 
備考	